

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年11月17日（火）9：00～9：40

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他4名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、資料に基づき、機構の有する施設に係る審査の進め方について説明があった。

規制庁からは次の指摘をした。

- ・三条改正に係る審査会合について、不要な回数を重ねなくて済むよう、よく準備をして欲しい。
- ・常陽の審査について、会合での議論が済んでいる部分の振り返り等、常陽担当者からヒアリングをさせてもらいたい。
- ・また、常陽については、地盤側の審査の内容も含め適宜認識合わせを行いたい。
- ・全体的にバックエンド側の審査対応（申請書の書き方、基準適合性に係る説明等）が弱いため、先行の審査等を参考にしつつ必要な準備をしてほしい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料

原子力規制庁研究炉等審査部門等における JAEA 許認可審査上位案件